



1. 製品及び会社情報

会社名：有限会社 パシフィック化学
 住所：〒170-005 東京都豊島区南大塚3-37-1
 電話：03-986-1578 FAX：03-3971-2613
 作成/改正：1994年 2月3日 / 2017年1月17日

整理番号 WL-1
 製品名 第一洗浄液（可燃性）
 物質の特定 混合物

2. 危険有害性の要約 - 単品成分記載 -

ラベル要素：  危険

GHS 分類：引火性液体：区分 2

急性毒性：皮膚 - 区分 5

急性毒性：吸入した場合 - 区分 4

分類の名称：引火性液体・急性毒性物質

危険性：常温では引火しないが、しみ込ませたり加熱すると引火し易くなる。

有害性：吸入

急性の場合 めまい、頭痛耳鳴り、嘔吐など

慢性の場合 めまい、頭痛、倦怠感、貧血、食欲不振など

皮膚 刺激し、脱脂症状を起こす。

目 刺激し、結膜炎、角膜炎を生じることがある。

3. 組成及び成分情報

化学名：	石油系溶剤	脂肪族ナフ：	CASNo.： 64742-89-8	PRTR法	非該当
含有量：	80 %	芳香族ナフ：	CASNo.： 64742-95-6	PRTR法	非該当
構造式：	ナフが主成分	国連分類：	クラス 3.3		
官報公示整理番号：	化審法	国連番号：			
その他の主な成分：	活性剤 20%				
	労働安全衛生法（通知対象物質）			鉱油	80%
	化学物質管理促進法（第一種及び第二指定化学物質）			該当なし	
	毒物及び劇物取締法			該当なし	

4. 応急措置

- 製品 -

目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付いた場合：石鹼を使って大量の水で洗い流す。
 大量に吸収した場合：直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静に努める。その後医師の手当てを受ける。
 誤飲した場合：吐かせず、直ちに医師の手当てを受ける。吐き出すときに溶剤を吸引して肺炎を引き起こす危険性があるから

5. 火災時の措置

- 製品 -

消火方法：粉末消火器 炭酸ガス
 消化剤：

6. 漏出時の措置

- 製品 -

ウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収し、こぼれた場所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 製品 -

取り扱い：裸火、熱、スパーク強酸化剤等の近くで取り扱わないこと
 皮膚、粘膜・着衣に触れたり目に入らないようにする。
 保管：作業場は、換気を十分に行なう。
 直射日光、火気を避け密栓し、換気の良い冷暗所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： ppm
 許容濃度：日本産業衛生学会勧告値 ppm
 ACGIH TWA ppm
 設備対策：使用後は直ちにキャップを閉める。又は局所排気装置を設置する。
 保護具：状況に応じ有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質 —製品—

外観：	薄い黄色液体	臭気：	温和な臭い
比重：	0.8	沸点：	150 °C
融点：	-50 °C	蒸気圧：	mmHg (20°C)
蒸気密度：		溶解度：	水；不溶
PH：	8	有機溶剤：	可溶

10. 安定性及び反応性 —製品—

引火点：	46 °C	発火点：	500 °C
爆発範囲：	1 ~7.0 vol%	安定性・反応性：	安定

11. 有害性情報

急性毒性：

刺激性： 高濃度蒸気は目や呼吸気管に刺激性があり、頭痛やめまいを起こすことがある。又、麻酔性が有り、中枢神経系に影響を与えることもある。

感作性： 長時間繰り返し皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、脱脂肪、さらには皮膚炎を引き起こす原因となる。

変異原性： 現在知見なし

亜慢性毒性： 現在知見なし

12. 環境影響情報

魚毒性： 現在知見なし

分配係数： 現在知見なし

13. 廃棄上の注意

中身を、使いきって廃棄してください。
本製品は、特別管理産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、特別管理産業廃棄物処理業の免許を持った業者へ、特別管理産業廃棄物管理票を添えて依頼する。

14. 輸送上の注意

1 m以上の場所から、投げたり落としたりしないで下さい。
40 °C以上の場所に放置しないで下さい。

15. 適用法令

—製品—

労働安全衛生法：	引火性の物	有機則：	なし
消防法：	第4類第2石油類	危険等級	III
危険物船舶運送及び貯蔵規則：	引火性液体		

16. その他の情報

引用文献等

1. 化学工業日報社： 12000の化学商品
2. 中央労働災害防止協会： 有機溶剤作業主任者テキスト
3. 有機化合物事典： 朝倉書店

販売商品取扱仕様書

特定品の場合の名称	消防法 表示義務あり	労安法 表示義務なし
容器形態及び材質	2.0ℓ	ポリエチレン容器
特定表示と箇所	ラベルに記載	
受注納入の条件	特になし	

保管取扱の注意事項

- ①印刷技術者以外の使用は避けて下さい。特に幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- ②キャップを開ける時、液が飛び出す事があるので充分注意して下さい。絶対に目や口に入れないで下さい。
- ③作業所は、換気を十分に行なって下さい。
- ④液が皮膚に付いた時は、直ちに流水で洗い流して下さい。
- ⑤使用後は、必ずキャップをして下さい。

* 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。